

第25回Beaconユーザシンポジウム事例発表 (3/6)

時間	会場	会社名	タイトル	概要
14:20 ~ 15:05	淡海 5	岡谷システム株式会社	岡谷鋼機における基幹業務システム再構築にあたって、BSP-RMを活用	基幹システムのダウンサイジング (System i)の課題点である帳票管理をホストで利用していたA-SPOOLと同等機能であるBSP-RMを利用する事により短期間で移行に成功しました。また既存のオープン系システムの帳票管理もBSP-RMを活用して統合することにより運用面の効率化もあげた構築事例を紹介します。
14:20 ~ 15:05	淡海 7	TIS株式会社	TISエンタープライズ2.0化計画 ~ コミュニケーションを企業力に変える ~	TIS株式会社では、2年前から社内SNS、Wiki、Googleアプライアンス、そして“InfoScoop”の導入に順次取り組んできました。そんなWeb2.0のテクノロジーや考え方を企業に導入していく“エンタープライズ2.0化”の実践事例について紹介します。
14:20 ~ 15:05	淡海 9	安藤建設株式会社	安藤建設における変化対応型経営情報基盤の構築 ~ 業務データを統合DWHに集約し経営の「見える化」を実現 ~	常に化する環境、経営ニーズを迅速に反映できる柔軟な“経営情報管理システム”の再構築を5ヶ月で実現し、検索スピード10倍の効果をもたらしたプロジェクト成功のプロセス (選定 ~ 導入 ~ 効果) を発表します。
15:30 ~ 16:15	淡海 5	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	ホストシステムをオープン環境へノートラブルでダウンサイジング！ その成功ポイントとは	ホストシステムのダウンサイジングが注目されていますが、実際に短期間・低コストでダウンサイジングを実現した弊社の実績から、その成功ポイントをご紹介します。
15:30 ~ 16:15	淡海 7	オリンパス株式会社	レガシーと自前オペレータとの決別 ~ オリンパスの新しい帳票・ジョブ管理 ~	オリンパスでは、基幹システムについてSAPを中心としたオープン系システムへの再構築を行い、帳票・ジョブ管理ソフトとしてBSP-RM・A-AUTOを採用し、アウトソースの活用により自前オペレータと決別しました。その経緯や稼働後の運用、安定稼働のポイントについてご紹介します。
15:30 ~ 16:15	淡海 9	株式会社東急百貨店	「GUEST SOLUTIONSシステム」の紹介 ~ 百貨店型新CRMへの取組みと基幹システム ~	百貨店のメインターゲットである富裕層のLife time value向上を目的とし、販売の現場「顧客との接点」から発想する新たなCRMの狙いと、それを支えるシステムの活用事例をご紹介します。
16:50 ~ 17:35	淡海 5	株式会社プラネット	運用部門におけるカイゼン事例 ~ シスドックによる部門変革とは ~	システムダウンサイジングの過渡期にあたる現在、シスドックサービスを利用し、運用の現場が如何にして変革していったのか、活動の留意点とその効果を事例紹介「カイゼン活動の現場をレポート」します。
16:50 ~ 17:35	淡海 7	生活協同組合連合会 東海コープ事業連合	ADABASからの脱却 ~ 短期プロジェクトで一気にマイグレーション ~	メインフレーム上でADABAS中心に稼働していた基幹システムのマイグレーションを意思決定から1年6ヶ月ほどで完了すべく現在奮闘中の模様を報告いたします。そのなかで発生した問題点や今後の課題などを明らかにして発表します。
16:50 ~ 17:35	淡海 9	三洋半導体株式会社	三洋半導体株式会社における 帳票インフラ構築事例	三洋電機の半導体部品である三洋半導体では、ホストシステムの一部をオープン系に再構築しました。ホストのA-SPOOLを利用した帳票管理と同様な管理をオープン系で実現させるため、BSP-RMを活用した帳票管理システムを構築しました。